



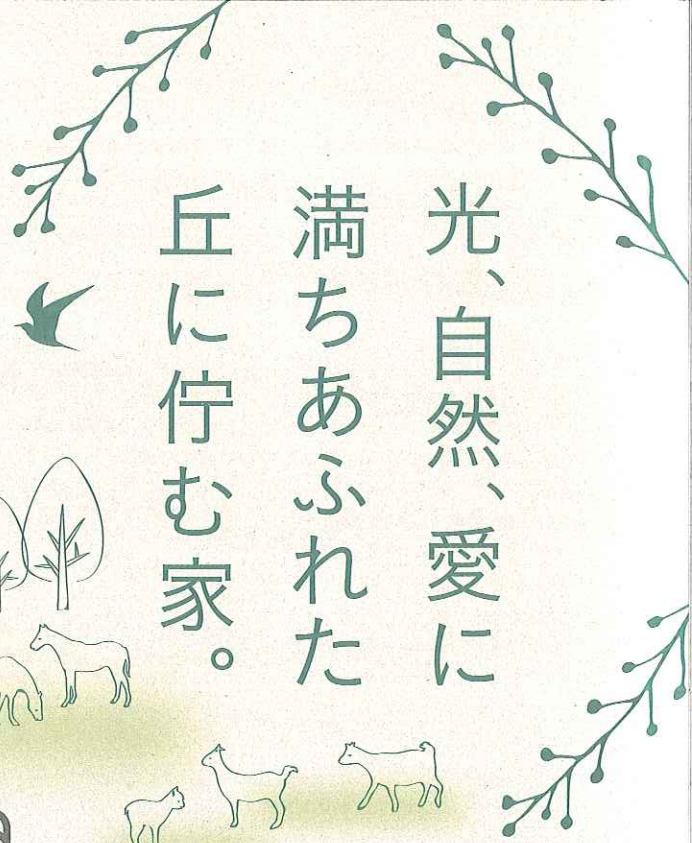
## カーサ・コリーナ開設に 込めた思い

1972年にオーナーズ牧場ができてから45年、Kふぁーむの様相は大きく変わりましたが、この土地が包み込んでくれる優しさは、今も子ども達や多くの人々を惹きつけています。

特別養護老人ホーム カーサ・コリーナは、メタセコイアの木々の間から柔らかく吹き抜ける風やまばゆい光を感じ、動物や自然との触れ合いから、四季の移り変わりを全身で感じていただける農場型老人ホームです。

豊かな自然を抱き、小高い丘の上にある家カーサ・コリーナには、誰もが自分らしく、毎日を過ごせるようにと願いを込めました。お一人おひとりの個性と生活リズムを尊重して、皆様の健やかで心豊かな暮らしを支えていきたいと考えています。また、ご家族やお友達にもKふぁーむやカーサ・コリーナに集って頂き、たくさんの笑顔の中で楽しい時間を過ごして頂ければと思います。

社会福祉法人安積福祉会 理事長 佐久間 啓



# 光、自然、愛に 満ちあふれた 丘に佇む家。



## Cas & Collina

特別養護老人ホーム カーサ・コリーナ

### 「農場型老人ホーム」という、新たなカタチ。

カーサ・コリーナは、Kふぁーむの丘に建つアットホームな特別養護老人ホームです。豊かな自然環境ときめ細やかなユニットケアで、入居者様の自分らしさを大切に育み、「またできるようになった」と感じていただける健やかな暮らしをサポートします。



#### 農場型老人ホーム

カーサ・コリーナは、豊かな自然に囲まれた農場「Kふぁーむ」の高台にあります。メタセコイアの木々の間から煌めく陽の光、柔らかく吹き抜ける心地よい風。四季の移り変わりを全身で感じていただける、絶好の環境です。

牧場側の窓からは、Kふぁーむの豊かな自然の中で暮らす可愛い動物たちを間近に望めます。



#### アニマルセラピー・各種行事

当施設では「農場型老人ホーム」という恵まれた環境を最大限に生かし、入居者様の安らぎにつながるアニマルセラピーを積極的に取り入れていきます。馬やヤギなどKふぁーむに暮らす様々な動物たちと触れ合ったり、農場・レストランなど共生事業と連携し、入居者様の充実した豊かな暮らしをサポートしていきます。



#### 完全個室のユニット型施設

ユニット型とは、プライバシー保護の観点から入居者様の居室を全室個室とし、10人程度の少人数グループをひとつの生活単位として分けることでよりきめ細やかな介護ケアを行う施設のことです。カーサ・コリーナでは、入居者一人ひとりの個性と生活リズムを尊重した「個別ケア」を実践していきます。

お問い合わせはこちらへ

社会福祉法人安積福祉会 特別養護老人ホーム カーサ・コリーナ

TEL. 0243-24-5777 FAX. 0243-64-2788 MAIL. casacollina@asaka.or.jp



## カーサ・コリーナの 見取り図



### 所在地

〒969-1205  
福島県本宮市和田字戸ノ内158番地3

### 定員

40名(1ユニット10名×4)

### 建物・設備

木造2階建ての、ぬくもりあふれる心地よい木の家です。

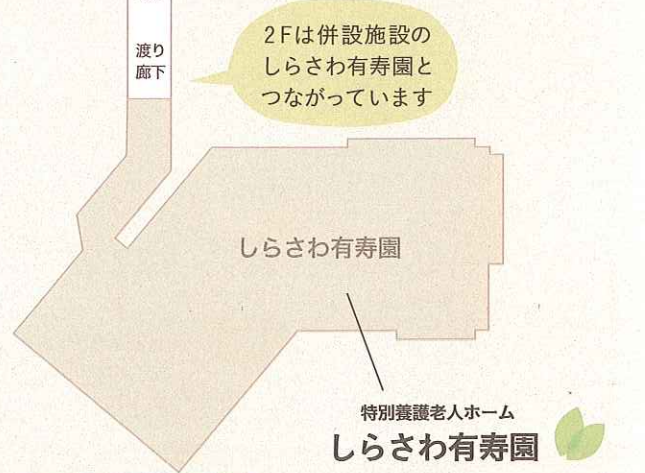
ユニット型居室 40室(洗面設備あり)

共同生活室 4室 / 共同生活室(談話) 4室

浴室 5室(個室4室・特殊浴槽1室)

便所 26室(1ユニット6か所・各階ホール1か所)

洗濯室・リネン室 各2室 / 医務室 1室 / 多目的室 1室



### 特別養護老人ホーム しらさわ有寿園



入所・デイサービス・ショートステイ・居宅介護支援事業を行う、従来型特別養護老人ホーム(平成13年8月開所)。カーサ・コリーナに併設しているため、食事や行事など、両施設でサービスを共有できます。互いに連携することで、入居者様により充実した安心の環境づくりを目指しています。

お気軽にお問い合わせください  
TEL 0243-24-5777 FAX 0243-64-2788  
MAIL casacollina@asaka.or.jp  
社会福祉法人安積福祉会 特別養護老人ホーム カーサ・コリーナ  
担当 佐藤・松本

### 安積福祉会の介護施設



## 設計コンセプト

豊かな自然や季節の移り変わり、動物たちの気配をここで生活する人々が常に感じる事の出来る建物を目指しました。40室という決して小さくない規模の建物をどのようにこの豊かな自然に寄り添って存在させるかが大きな課題となりました。雄大なKファームの敷地の中で、既存の特別養護老人ホーム「しらさわ有寿園」との機能的な連携を図りつつ、この課題を解決する為の私たちの提案は、日頃ウマやヤギが草を食むために放牧される調整池の斜面に沿うようにこの建物を配置することでした。2層になる建物を1層分沈ませ、勾配屋根の軒先高さを抑え圧迫感を軽減させることで、平屋の有寿園と一体感を保ちます。さらに建物の形態に少し角度をつけることで、地形に馴染ませ自然との一体感を図りました。近年の法改正により2階建ての特別養護老人ホームも準耐火構造とすれば木造で建てる事が出来るようになりました。構造体を準耐火の仕様にするのはもちろんのこと、スプリンクラーの設置、ユニットごとに防火区画を設けるなど、火災に対しての配慮を行いながら、木造建築とすることでこの土地に合った温かみのある建築・空間を実現することが出来ました。

### 北側の緑

調整池の南側に建物を配置することによって、北側に大きく開くことが出来、太陽の光を正面から受ける木々を望むことが出来ます。



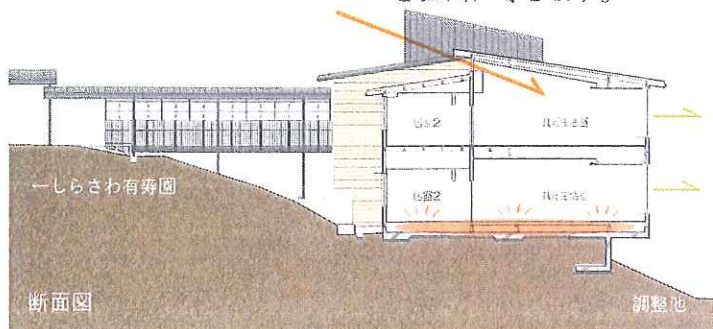
談話コーナー

### 斜面に建つ

斜面に建つことで、法面中段の平地に1階が接地し、2階は既存建物と同じ高さになりブリッジで繋がります。また、建物を調整池側に張り出させることで地面から浮いているかのように見えます。各階から階段を使うことなく外部へ避難できることも斜面に建てる事のメリットです。

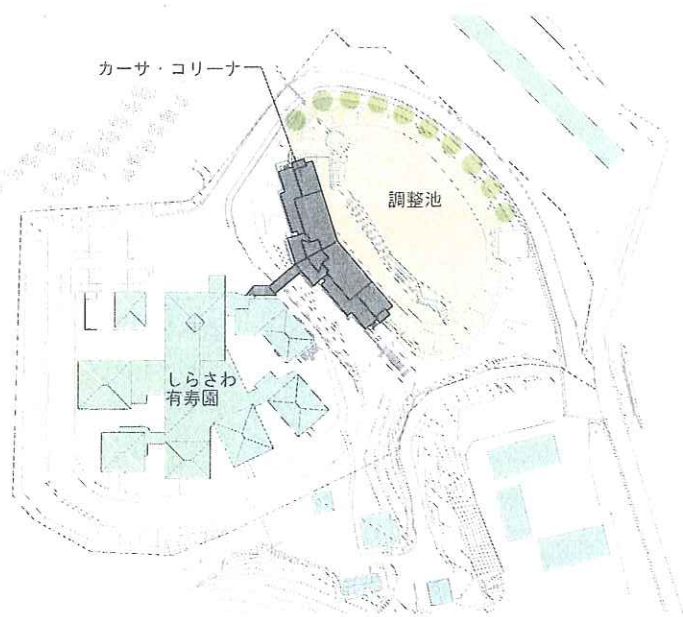
### 床下暖房

木造の建物は構造上必ず床下の空間が生まれます。その空間に暖かい空気を送り込むことで厳しい冬を少ないエネルギーで乗り越えることが出来るシステムを構築しています。ハイサイドライト  
勾配屋根をずらすことによって生まれる隙間をハイサイドライトとすることで、自然光を室内に導きます。



断面図

調整池



Kふあーむ配置図

### 在来木軸工法

柱梁による在来木軸工法を選択しました。特別な工法を用いらず、シンプルな架構にすることで、工期の短縮、コストの削減を図りました。



木軸工法

### 燃えしろ設計

準耐火木造の場合、構造体を不燃材等で覆わなければなりません。共同生活室の柱は、構造上必要な柱寸法よりも大きくする(燃えしろ設計)ことで構造体をそのまま見せることが可能になっています。



共同生活室

### 2つの建物をつなぐ

しらさわ有寿園とはブリッジ・キャノピーによって繋がります。人や物、食事などを雨に濡れることなく運ぶことが出来ます。



アプローチ

## 2つのユニット

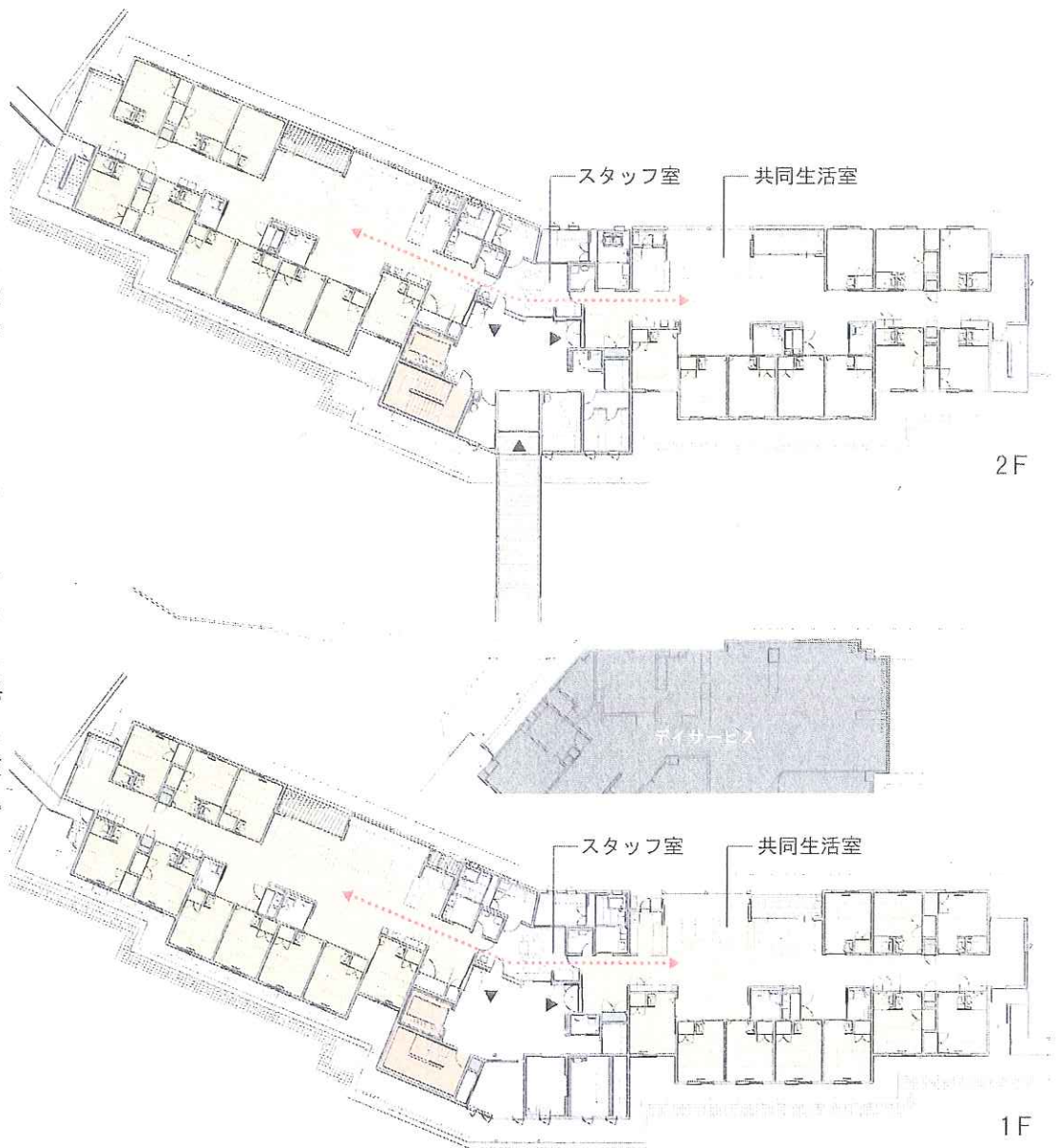
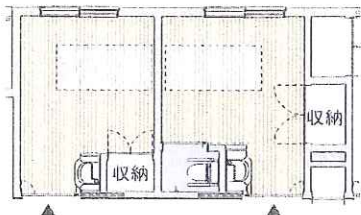
全ての居室は6畳ほどの広さがある個室です。10室を1ユニットとして、スタッフ室を中心に線対称に展開し、1フロア2ユニットで構成しました。スタッフ室の中にも2つのユニットを見守ることができ、ユニット間の連携が出来るようにしました。

## 2種類の居室

2つのパターンの居室によって構成されています。

どちらも入口付近に水周りをまとめることで、窓側にまとまったスペースを確保することが出来ます。入居者が自然を感じる事が出来ると共に、ベッドサイドにスペースが確保できるので、介助しやすいレイアウトが可能になります。

## 居室詳細



## 凹凸のある居室配置

居室をずらして配置することで、外観を分節し表情を与えると同時にゆとりのある内部空間をつくり出します。共同生活室と居室の入口に距離が生まれパブリックな場所に面しながらも落ち着いた居室環境を作り出しました。



## 付鴨居について

居室にある木の付鴨居はフックやハンガーを掛けたり、カレンダーやポスターを貼ったりすることが出来ます。施設でありながら自由な設えができ、より自分の部屋であると感じることが出来るのではないかと考えます。



## スタッフの居場所

ユニットケアのコンセプトである「高齢者とスタッフが共に暮らす」を実現する為に、キッチン端にさりげなくスタッフの居場所を設け、自然な形で見守りが出来るようにしています。



## 見切り手すり

手すりと腰壁の見切りとを兼用することで要素を減らし施設的な雰囲気無くしシンプルなインテリアにしています。また廊下に面する収納家具やカウンターと手すりの形状を連続させ機能性と意匠性を両立させています。

